

島根県 栄養士会だより

2020.12 No.104

News letter of the shimane prefectural dietetic association

公益社団法人 島根県栄養士会

TEL: 0852-27-6674 FAX: 0852-27-8987

メールアドレス: shimaiei@web-sanin.co.jp

会員数: 558人 (令和2年11月30日現在)

発行責任者: 名和田清子 (発行日: 令和2年11月30日)

INDEX

ページ

- ◆ 巻頭言 ◆ 1
「栄養士に期待する」
- ◆ 特 集 ◆ 2 ~ 3
・ コロナ禍における栄養業務について
- ◆ 令和2 ~ 3年度 役員紹介 4 ~ 7
- ◆ お知らせ・あとがき 8

巻頭言

栄養士に期待する

出雲保健所長

なかもと みのる
中 本 稔

COVID-19対策では、4月に松江市での患者発生を受けて以降、出雲保健所でも対応に追われました。職員だれもが初めてのCOVID-19であり、異動者には関係機関の役割もよくわからない中で、何よりも患者となった陽性者の一人ひとりが「新型コロナかもしれない」という比較的早期の段階で相談から検査、入院の流れで対応できたことは、市内への拡がりを防ぐことができたと思っています。

ウイルスそのものは目で見ることはできませんが、適切な対応をとれば感染しません。仮に感染者が身近にいても、飛沫感染、接触感染への対策をとれば、感染するリスクは大きく低減できます。正しい知識の理解は、感染リスク軽減の基本です。栄養士が調理されたものをみて栄養素を想定し計算できるように、目には見えないCOVID-19の感染経路がわかるためには、正しい知識の積み重ねが大事です。

健康づくりでは、関係性（ソーシャルキャピタル）を高めて、互いの健康を高め合ひましよう

と、推進してきました。COVID-19の感染拡大で、この関係性が問われました。この数年間は「通いの場」での介護予防が各地で取り組まれてきましたが、今回のCOVID-19では感染を危惧して休止になりました。本当に信頼を寄せる人とは、仮にどちらかが感染したとしても、互いに気遣って支え合いをするものと考えます。どういう支え合いをするかにもよりますが、身体的距離を保つことができなければ、感染予防をして近づけばいいのです。手洗い、マスクが基本です。（場面によって細かい予防対策が必要となる）

栄養士は食を通して関係性を高めることができます。飽食の時代、大量の食糧廃棄のある日本において、地域で暮らす人びとの栄養摂取を通して、一人ひとりの生活、生きざまに向かう場面がある。この対面して仕事することがとても貴重な瞬間だと、COVID-19騒動から教わりました。他者との関係性を高めることができる栄養士の役割を楽しみながら仕事を続けていただきたいと思います。